

城里町の文化財さんぽ(三五)

国登録有形文化財(建造物)

しまけじゅうたくしゅあく

「島家住宅主屋」

指定年月日/平成一四年八月二日
所在地/城里町上古内
管理・所有者/城里町



国登録有形文化財「島家住宅主屋」は、生活の中心となる「おもや」と、炊事専用の「かまや」が、それぞれ別棟に設けられる「分棟型民家」の系統に属するとされる曲屋風の民家です。

「おもや」は桁行七間、梁行四間で、茶の間・中の間・お座敷・裏座敷・納戸・廊下・便所が設けられています。曲屋部の「か

まや」は桁行六間、梁間三間半で、玄関・囲炉裏・炊事場・かまど・風呂・土間・馬屋が設けられており、馬屋の上は中二階となっています。曲屋部の南面屋根は兜造風に切り落とされ、出窓には格子が建てられています。創建は江戸時代中期で、「おもや」は幕末期に改造されたと言われています。

ところで、「国登録有形文化財」とは耳馴れない言葉ですが、実は、平成八年度に実施された文化財保護法の改正に伴って誕生した新しい制度です。目的は、消滅の危機にさらされている近代建造物等を幅広く保護し、地域の資産として活かそうというものです。具体的には、五〇年を経過した歴史的建造物のうち一定の評価を得たものが登録の対象となり、届出制という緩やかな規制によって保存を図り、まちおこしや観光への活用を積極的に促すものです。

城里町でも、キャンドルライトアップやアート展の開催等、「島家住宅主屋」の活用に積極的に取り組んでいます。

解説文/町文化財保護審議会会長 小山映一

問合せ 教育委員会事務局

☎ 029-288-3135

俳句

震源地は日立沖なり轉れり

鯉淵 寿美恵

ハングライダー上手総立ちのつくしんぼ

今瀬 多代美

ナデシコ科はこべら属の繁縷引き

中野 千賀子

銀杏裸木丸見えの母の家

仲田 まちゑ

しやばん玉ふはりと山を映しけり

森 静江

夕厨母の煮詰めしつくしんぼ

綿引 英子

文芸しろさと

短歌

「金メダル」フィギュアの羽生空姿
よし特技ワンダフル世界に輝きぬ

山形 式妙

怪我のあと強くもなれる可能性

ありて羽生結弦の優勝決まる

杉山 みちこ

こんなにも青空がきれいと思ひぬ

ためて心臓手術終えて思ひぬ

大森 久子

眠れずに真夜開く歌誌さまぎ

まな人の思ひに出合ふひと時

渡辺 千紗子

今日一日風強ければガラス戸は

ガタガタと音しきりたてをり

所 美恵子

山寺の氷柱の下を川流れ

飯村 昭子

黒髪の健やかなりし桃の花

竹内 幸子

目白来てをり満開の梅の花

瀬谷 博子

空港や金色メダル冬の列

岩下 金司

如月や小川の水に響きあり

田口 勝元

百歳を我が視野に入れさくら咲く

寺門 孝子

川柳

免許証返納話知らん顔

富田 多蔵

一万歩勧められ歩くその日だけ

車田 綾子

今年もまた春告げ鳥に気をとられ

飯村 孝一

卒寿きて会う人毎に励まされ

川原 清

月曜の朝の楽しみ一つ消ゆ
兜太還なき俳壇さびし

枝 不美

亡き兄の友は皆逝き如月の

語る人なき吾も老いたり

島 愛子

「しろさと」に掲載されし拙き短

歌を毎月みてると励ましの声

信田 育子

咲き初めたる梅に淡雪降りか

かり「雪梅」の謠詩重ね眺むる

萩谷 登喜子

待ちかねし羽生の滑りに列

島が息つめて祈る四分半を

富田 佐智子

七会ブランド米をより高め

米作ると言う意気込み凄い

藺部 光子



「文芸しろさと」へ作品の掲載を希望する方は、①住所 ②氏名、③作品の種類 ④作品(掲載は1作品のみ)、⑤連絡先を記入のうえ、応募先まで直接持参または郵送にてお申し込みください。

応募先・問合せ

まちづくり戦略課

(〒311-4391)

城里町石塚1428-25)

☎ 029-288-3111 (内線223)